

完了後の評価個表

整理番号	2-1
------	-----

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	新潟県
ふりがな 地域(地区)名	ちゅうえつ 中越	事業実施主体	新潟県、長岡市(旧栃尾市)、三条市(旧下田村、旧三条市)、加茂市、南蒲原森林組合、中越よつば森林組合(旧刈谷田森林組合)
関係市町村	長岡市(旧栃尾市)、三条市(旧下田村、旧三条市)、加茂市	管理主体	長岡市(旧栃尾市)、三条市(旧下田村、旧三条市)、加茂市、南蒲原森林組合、中越よつば森林組合(旧刈谷田森林組合)
事業実施期間	H14 ~ H19 (6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的

【地区の概要】

- 位置等
当地区は、加茂市、三条市(旧下田村、旧三条市)、長岡市(旧栃尾市)の3市(旧市町村で4市)からなる。新潟県のほぼ中央付近に位置し、越後山脈の主峰である守門岳(標高1,535m)の北西に位置し、主として丘陵地になっている。
地区全体の人口は、平成7年から平成12年までの5ヶ年で2.7%減少しており、過疎化・高齢化が進み、特に山間地に至るほど生活環境が低下している地区である。
- 森林の状況
当地区の全面積72,542haのうち、森林面積は51,980ha(うち民有林63%、国有林37%)で、林野率は71%である。全森林面積のうち、人工林面積は8,315haで、人工林率は16%となっている。
- 当地区を整備する目的・意義
人口の減少する中で、当地区における定住環境の整備を図るため、地域の活性化、産業の振興、生活環境の整備に重点を置いた事業を実施した。
 - 当地区の中でも、資源量が豊富な1つのユニット流域内を通過する今滝冬鳥越線について、森林基幹道として開設を継続し、重点的な木材供給地として整備し、木材の安定供給を図る。
 - 3つの集落を結ぶ重要な林道である長峰線について舗装を実施し、生活道としての安全確保、集落間の交流促進を図るとともに、市民の憩いの場となっている栃尾城址へのアクセス性を向上させる。
 - 地区内でも特に水道の普及率が低い中野俣地区において用水施設(簡易水道)を整備し、中山間集落における生活環境の改善を図る。
 - 森林管理道として3路線を整備することで、林内路網の充実を図り、地域森林の適正な整備と活用を促進する。

(事業概要)

- ①森林活用基盤整備
 - (1)森林基幹道整備
 - ア 開設
いまたきふゆとりごえ
今滝冬鳥越線 車道幅員 5.0m 開設延長 3,077m 利用区域 848ha
 - ②居住環境基盤整備
 - (1)集落基盤整備
 - ア 集落林道整備
ながみね
長峰線 車道幅員 4.0m 舗装延長 2,039m
 - イ 用水施設整備
なかのまた
中野俣地区 配水・取水施設 2ヶ所、配水・導水管 8,550m
 - ③居住地森林環境整備
 - (1)居住地周辺森林整備
 - ア 居住地周辺森林整備
加茂市・三条市(旧下田村) 間伐・枝打ち 78ha
長岡市(旧栃尾市) 間伐・枝打ち 13ha
 - イ 林道整備(森林管理道)
くかわむぐらだに
九川葎谷線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,400m 利用区域 325ha
しおのぶち
塩野淵線 車道幅員 4.0m 開設延長 2,600m 利用区域 126ha
ふせたにちようふくじ
布施谷長福寺線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,880m 利用区域 167ha
- 総事業費 1,666,815千円 (当初総事業費 2,133,500千円)

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 費用対効果分析手法の見直しに伴う総便益の減少や、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>3,620,148千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>6,968,637千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,802,377千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>2,044,154千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.29</td> <td>(事業採択時</td> <td>3.41)</td> </tr> </table>	総便益(B)	3,620,148千円	(事業採択時	6,968,637千円)	総費用(C)	2,802,377千円	(事業採択時	2,044,154千円)	分析結果(B/C)	1.29	(事業採択時	3.41)
総便益(B)	3,620,148千円	(事業採択時	6,968,637千円)										
総費用(C)	2,802,377千円	(事業採択時	2,044,154千円)										
分析結果(B/C)	1.29	(事業採択時	3.41)										
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>① 森林基幹道及び森林管理道の整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られ、森林整備が促進された。 ② 集落林道整備により林道舗装を実施した結果、集落の生活道としての利便性が向上し、利用者の安全確保、維持管理の軽減にも寄与した。 ③ 用水施設(簡易水道)の整備により、生活用水の安定供給が確保されるとともに水質も向上し、集落の生活環境が改善された。 ④ 森林整備の実施により、森林の適切な管理と資源の充実につながった。</p>												
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当事業により整備された林道は、市が定めた林道管理規則に基づき適切に管理され、適宜側溝清掃や草刈り等が行われている。 ・ 用水施設は、市において適切に維持管理されている。 ・ 森林整備箇所は、森林所有者等によって適切に管理されている。 												
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林道整備の結果、森林施業地までの到達時間の短縮や、施業可能な区域の拡大により、森林整備が促進された。 ・ 林道開設にあたっては、優良林地における逸散土抑制、現地発生材を活用した法面保護工の採用や案内看板の設置など、環境に配慮した施工に努めた結果、自然環境や景観等への影響は見られない。 ・ 用水施設の整備により、集落の生活環境が向上し住民の暮らしやすさにつながった。 												
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成17年～22年の間に、旧栃尾市を含む11市町村が合併して長岡市、旧下田村・旧三条市を含む3市町村が合併して三条市、旧刈谷田森林組合を含む4森林組合が合併して中越よつば森林組合となり、山村地域の振興をより一層推進する体制が整った。 ・ 林道整備により、高性能林業機械の導入や運搬車両の大型化が可能となり、作業効率の向上と作業コストの軽減が図られた。 ・ 走行性のよい林道の整備により、集落間の交流や都市部の住民の来訪が増え、森林とのふれあい創出、地域の活性化につながった。 												
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、当該事業により整備した林道から、林業専用道・森林作業道等の支線・枝線の整備を積極的に進めることで、地区一帯の路網密度を高め、さらなる森林整備の推進、施業の効率化を図る。 ・ 整備した林道を活用して、高性能林業機械や大型運搬車両を導入することで、低コスト施業を推進し、林業生産性を向上させる。 ・ 林道開設による一般交通の増加状況を踏まえ、利用者が林道を安全に通行するため、適切な維持管理を実施するとともに、利用者マナーの向上について普及啓発していく必要がある。 ・ 整備された施設については、引き続き適切に維持管理していく必要がある。 <p>地元の見解：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回整備した林道を軸に、今後支線・枝線をさらに充実させることで、地区全体として林内路網を活用したより効率的な林業生産システムを構築していきたい。(新潟県) ・ 森林基幹道である今滝冬鳥越線については、ドライブや山菜採取、森林とのふれあい等、多様な利用が見込まれる。林道を活用して、市内外からより多くの利用客を呼び込むことで、地域の活性化を図っていきたい。(加茂市) ・ 林道整備により、充実しつつある森林資源を適切に管理・利用できる環境が整った。また、森林とふれあう機会の創出にもつながり、地域住民の森林に対する興味・理解が深まった。(加茂市、長岡市(旧栃尾市)、三条市(旧下田村、旧三条市)) ・ 集落林道の舗装により走行性が向上し、集落間の交流や地域住民による森林の利用が増加した。用水施設の整備により、集落の生活環境が大きく改善された。(長岡市(旧栃尾市)) ・ 林道整備により、森林へのアクセスが向上し、森林所有者の森林整備に対する意欲も高まりつつある。引き続き所有者に対して積極的に働きかけ、地区一帯として森林整備を促進していきたい。(南蒲原森林組合、中越よつば森林組合(旧刈谷田森林組合)) 												
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 事業実施により、森林整備の基盤となる路網が総合的に整備されたこと、中山間集落において、林道舗装や用水施設の整備により生活環境の改善が図られたことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地の条件に適合した、最も効率的・効果的な工種・工法を採用するとともに、現地発生材の有効利用や切・盛土量の抑制等によりコスト縮減に努め、総事業費の縮減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセス性が向上し、森林整備の推進、作業コストの軽減が期待でき、今後も一層の事業効果の発現が見込まれる。また、森林整備による森林の景観向上、中山間集落の利便性向上にも寄与していることから、事業の有効性が認められる。 												

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

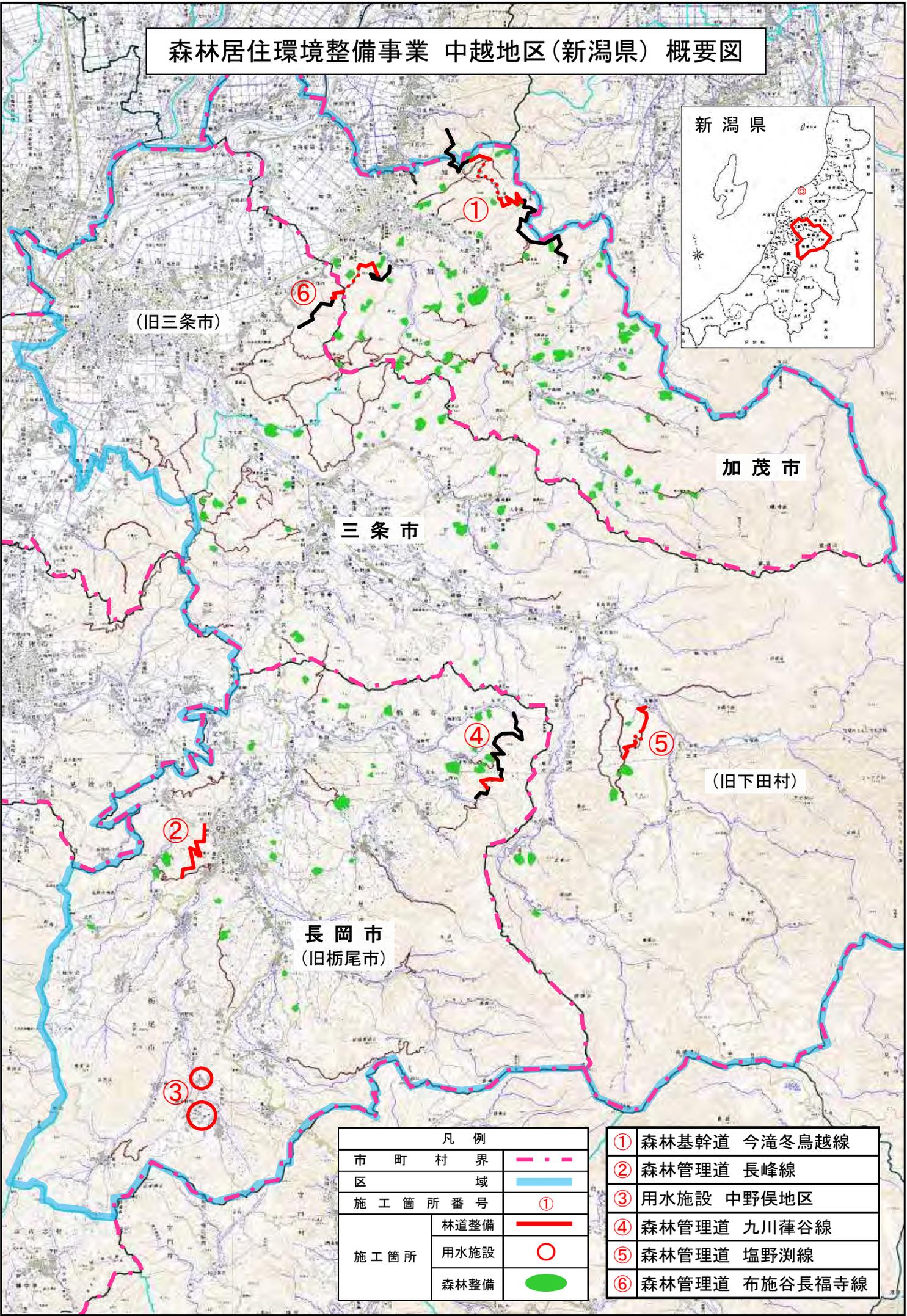
都道府県名：新潟県

地域(地区)名：中越^{ちゅうえつ}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	105,161	
	流域貯水便益	31,200	
	水質浄化便益	65,020	
山地保全便益	土砂流出防止便益	69,997	
	土砂崩壊防止便益	2,663	
環境保全便益	炭素固定便益	113,169	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	61,402	
	木材利用増進便益	138,334	
	木材生産確保・増進便益	383,983	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,128	
	森林管理等経費縮減便益	24,372	
	森林整備促進便益	906,821	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	559,264	
	副産物増大便益	199,415	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	140,827	
	災害復旧経費縮減便益	77,339	
維持管理費縮減便益		154,016	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	586,038	
総 便 益 (B)		3,620,148	
総 費 用 (C)		2,802,377	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,620,148}{2,802,377} =$		1.29

森林居住環境整備事業 中越地区(新潟県) 概要図



凡例		
市 町 村 界	— · — · —	
区 域	— — — — —	
施工箇所番号	①	
施工箇所	林道整備	— — — — —
	用水施設	○
	森林整備	●

①	森林基幹道 今滝冬鳥越線
②	森林管理道 長峰線
③	用水施設 中野俣地区
④	森林管理道 九川葎谷線
⑤	森林管理道 塩野淵線
⑥	森林管理道 布施谷長福寺線